

### (3) 骨 材

#### 新潟県

記事提供：(一社)新潟県砂利碎石協会

新潟県における平成30年度4月～6月期の骨材需給は、前年度同期と比較して、公共事業が横ばいで推移する中、上信越道4車線化舗装工事など一部地域で伸びており、県計では、出荷量で14%増、生産量で12%増となった。

地区別に前年度同期比で見ると、上越地区では、出荷量で44%増、生産量で39%増、中越地区は、出荷量が4%減、生産量で10%減、下越地区は、出荷量が10%増、生産量で11%増、佐渡地区は、出荷量で33%増、生産量で31%増となった。

6月末の在庫量は、前年度末より4%増、前年度同期比では8%減となった。

#### 富山県

記事提供：富山県土石業協同組合連合会

富山県における平成30年度平成30年4月～6月期の骨材の需給は、前年同期に比べて、県全体では出荷量は4%増、生産量は7%増となった。

地区別の前年同期比では、東部地区は出荷量が8%増、生産量が8%増、西部地区は出荷量が±0%、生産量が6%増となった。

出荷量の増については、東部地区において災害復旧事業に係る需要が旺盛だったことによる。また、生産量については、東部、西部地区とも増加しているが、これは東部地区における災害復旧事業が盛んであることと、県全体において前年までの公共事業の激しい落ち込みがやや落ち着きを見せたことによるものと考えられる。

6月末在庫量は、前年同期比、東部地区では20%減、西部地区では15%増となり、県全体では14%減となった。これは東部地区においては旺盛な需要に対応して在庫を取り崩している半面、西部地区では今後の需要を見込み、在庫を積み増していることによるものと考えられる。

#### 石川県

記事提供：石川県骨材協同組合連合会

石川県における平成30年度4～6月期の骨材(県内産)の需給状況は、著しい出荷が続く南加賀地区の北陸新幹線関連需要が、今期も加賀地区の陸砂利・川砂利と山碎石の出荷を大きく牽引し6期連続の増加となった。また能登地区も3期連続の増加となったことから、県計全体の出荷量は前年同期と比べて27%の大幅な増加となった。

地区別の出荷量の比較では、加賀地区は前年同期と比べて、陸砂利・川砂利が24%の増加となり、同地区の山碎石も34%の大幅な増加となったことから、総じて加賀地区の出荷量は27%の増加となった。また能登地区も、依然として県外からの流入材に押されているものの、今期は前年同期比で14%の増加となった。

その今期の出荷量の内訳を見ると、加賀地区の主要生産地である手取川扇状地産の陸砂利と川砂利については、主要な需要先である生コン業者向けの出荷は、大口需要の金沢地区が思うように伸びずほぼ前年度並みで推移したが、南加賀地区は北陸新幹線関連工事が倍増した昨年度より更に出荷を伸ばし、前年同期比で63%の大幅な増加となった。また前期は微増に止まっていたアスファルト合材業者向けの出荷も今期は回復傾向となり、前年同期比で13%の増加となった。よって以上を合わせた今期の加賀地区における手取産陸砂利と川砂利の全体の出荷は、前年同期比で24%の増加となった。

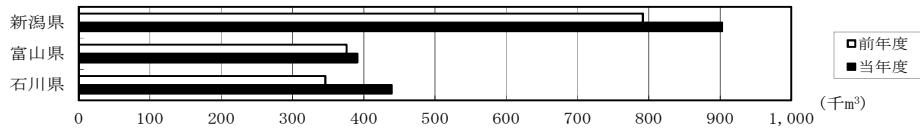
一方、路盤材を主体とする加賀地区の山碎石は、前期の積雪による減少から今期は増加基調に復帰し、前年同期比で34%の増加となった。

また能登地区の山碎石については、今期は前年同期比で14%の増加となったものの、やはり実質的な販売量は県外からの流入材に押されてまだまだ少なく、依然としてこの地区の地場産業者の需要環境は、厳しい状況が続いている。

生産量については、加賀・能登地区共に今期も概ね出荷量に合わせた生産体制をとっているため、県計では前年同期比で25%の増産となった。

在庫量は、加賀地区の陸砂利と川砂利の在庫が出荷の急増によりややひっ迫状態にあることから、県計全体の前年同期比では6%の減少となった。

骨材出荷量の推移（4月～6月期）



(単位：千m³、%)

県	地区	区分	平成29年度 年計	平成30年度				累計	
				4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月		
新潟県	上越	出荷量	10	44				▲67	
		生産量	783	262				262	
		在庫量	5	39				▲64	
	中越	出荷量	746	271				271	
		生産量	▲18	▲18				▲18	
		在庫量	173	183				183	
	下越	出荷量	▲4	▲4				▲75	
		生産量	1,062	266				266	
		在庫量	▲8	▲10				▲75	
	佐渡	出荷量	1,030	253				253	
		生産量	▲10	▲14				▲14	
		在庫量	327	314				314	
	県計	出荷量	▲2	10				▲74	
		生産量	1,221	315				315	
		在庫量	▲7	11				▲70	
富山県	東部	出荷量	1,202	365				365	
		生産量	▲3	▲1				▲1	
		在庫量	684	733				733	
	西部	出荷量	▲2	33				▲70	
		生産量	201	60				60	
		在庫量	▲5	31				▲70	
	県計	出荷量	194	59				59	
		生産量	▲15	▲17				▲17	
		在庫量	39	38				38	
	石川県	加賀	出荷量	0	14				▲72
			生産量	3,267	903				903
			在庫量	▲4	12				▲70
		能登	出荷量	3,172	948				948
			生産量	▲7	▲8				▲8
			在庫量	1,223	1,268				1,268
県計		出荷量	▲16	8				▲72	
		生産量	684	194				194	
		在庫量	▲15	8				▲70	
石川県		加賀	出荷量	646	193				193
			生産量	▲20	▲20				▲20
			在庫量	160	160				160
		能登	出荷量	▲6	0				▲77
			生産量	840	197				197
			在庫量	▲5	6				▲75
	県計	出荷量	836	205				205	
		生産量	▲7	15				15	
		在庫量	39	46				46	
	石川県	加賀	出荷量	▲11	4				▲74
			生産量	1,524	391				391
			在庫量	▲9	7				▲73
		能登	出荷量	1,482	398				398
			生産量	▲17	▲14				▲14
			在庫量	199	206				206
県計		出荷量	20	27				▲71	
		生産量	1,465	431				431	
		在庫量	22	25				▲70	
能登		出荷量	1,458	437				437	
		生産量	▲5	▲7				▲7	
		在庫量	143	149				149	
県計		出荷量	24	14	-	-		▲69	
		生産量	26	8				8	
		在庫量	17	14	-	-		▲71	
能登	出荷量	28	8				8		
	生産量	25	25	-	-		-		
	在庫量	10	10				10		
県計	出荷量	21	27				▲71		
	生産量	1,491	439				439		
	在庫量	22	25				▲70		
能登	出荷量	1,486	445				445		
	生産量	▲3	▲6				▲6		
	在庫量	153	159				159		

(注)・上段は前年同期との比較

・集計は、新潟県

会 員111社のうち111社

富山県

会 員86社のうち86社

非会員 1社のうち 1社

石川県

会 員21社のうち21社 (委 託 加 工 業 者 含 む)

非会員16社のうち9社

(本データは、陸砂利・川砂利及び山砕石の数量である。)